

## 平成30年7月 定例記者会見（報告）

1 日 時 平成30年7月30日（月）午後1時00分～午後1時25分

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、河北新報、毎日新聞、山形新聞、米澤新聞社、読売新聞、  
置賜日報デジタル、NCV

<市> 市長、秘書広報課長、秘書広報課長補佐、担当者

4 記者倶楽部からの質問事項

- (1) 花公園的な施設が長井市、南陽市などにありますが、米沢市にはありません。造成する構想はお持ちですか。
- (2) その他

5 内 容

○秘書広報課長

それでは、平成30年7月の定例記者会見を始めさせていただきます。この度は、一つ質問を頂戴しております。初めに、市長からお答えさせていただきます。

○市長

はい。質問は、「花公園的な施設が長井市、南陽市などにありますが、米沢市にはありません。造成する構想はお持ちですか。」ということでした。確かに米沢を除く置賜2市5町にはそれぞれの地域で花公園をお持ちになっているようです。川西町ではダリヤ公園、飯豊町ではどんでん平のユリ園、小国では石楠花、南陽では千本桜やバラ公園、長井ではあやめ公園、白鷹の場合は紅花栽培が県下でも相当面積を占めておりまちおこしにつなげているようです。高畠については寒牡丹で冬場の観光誘客にも取り組んでいます。

では、米沢はどうなのかといわれると、確かに花をメインとして集客できるような場所は今までございませんでした。ただ一つ、地域の力でできあがってきつつあるのが小野川小町花公園です。ご承知のとおり小野川スキー場の斜面を利用してジャーマンアイリスなどの花を植栽しております。5年間ほどかけて造成をしております、去年オープンしたところであります。米沢の花公園のひとつとして、このジャーマンアイリスの公園がきれいに整備されていくのかなと思っております。小野川のひとつの観光誘客も含めて、我々行政側としてももしっかりPRし、これからの対応も考えて

いかなければならないと思っております。

さらにもう一つは、今年、上杉鷹山公の250年祭を上杉メモリアルフェスタというかたちで開催させていただきますが、上杉家17代御当主の上杉邦憲様と桜公園を作ろうということになりました。上杉様を通して東京の霞会館から桜を寄贈いただくことになり、昨年11月、計画書を作成し、申請をしたところです。昨年は10本ほど試し植えをさせていただきました。また、場所については、愛宕地区周辺を考えております。

ひとつは、鷹山公が雨乞いをされた愛宕神社。さらに、旧愛宕小学校の跡地を活用し、山一帯を「ようざん桜の杜」というネーミングで造ろうという計画をしているところです。とりあえず100本ということをお願いしておりますが、もう少し増えるかもしれませんので、単に行政だけでなく、市民による植樹ということも考えられます。例えば、ご結婚やお孫さんの誕生などのお祝いごとに桜を植樹したいという方もいらっしゃると思っております。間もなく、民間主導の実行委員会を立ち上げまして、桜を基本に公園を造成していきたいと考えております。

10年前に若田光一さんが宇宙に飛び立ったときに、天然記念物の桜の種をいくつか持っていかれて、戻ってきて種の芽だしをしたところ、何本かの芽が出たそうです。その中で、NPO法人を立ち上げて、被災地を中心にその苗木の植樹をされているとのことでした。その名前を「希望の桜」と称しているそうです。

米沢市でも、「ようざん桜の杜」を造成したいということもありましたし、400名弱の避難者の方もいらっしゃるの、希望を持ってこれからの生活に挑んでいけるようにということもあり、「希望の桜」の植樹の申し入れをしておりました。7月にそのNPO法人の方が飯豊町に来られた際、直接お会いをしまして、「希望の桜」をいただけることになりました。また、来年になるとは思いますが、メインの桜として、山梨県北杜市の天然記念物の桜の苗木を頂けるということでした。それぞれいろいろな市長さんにもお会いする機会がございまして、「うちにも天然記念物に指定されている桜があるので、米沢市で必要ならば寄贈します」という言葉を頂いております。

今後、「ようざん桜の杜」を中心としまして、愛宕地区の斜平山周辺に、街から見ても、その時期が来ると花が咲いたなと思っただけのような公園を造成していきたいと思っております。

長期的な計画ですが、健康長寿ということもありますので、市民の方が散策できるような、そういった場にしていきたいと考えております。地元愛宕地区には、桜を整備する同盟会も出来ておりますし、まもなく、市全体の実行委員会等も立ち上げたいなと思っております。小野川に加えて、愛宕地区斜平山を整備し、なんとか米沢にも花公園を作っていきたいと考えております。

○秘書広報課長

市長からの回答は以上でございます。質疑がありましたら幹事社を中心によりしくお願いいたします。

○記者

桜公園について質問です。構想としてどのくらいの面積の公園を考えていますか。

○市長

ほとんど市の土地ではありません。民間が所有している土地ですので、当面は200本くらいを植えられるスペースということで考えております。先日、地元の方や地権者の方とも打ち合わせをさせていただきまして、快く了承を頂いているところでもあります。檜枯れ、松枯れが非常に目立っている地域でもありますので、このようなことも含めて、今後、地元の方々とお話し、ご協力をいただきながら、様々な形で面積的にも増やしていきたいと思っております。

○記者

鷹山公の雨乞いの伝説と桜は関係あるのでしょうか。

○市長

いえ。特に関係はないのですが、鷹山公が米沢に入部されて来年で250周年を迎えます。財政状況が非常に困難で藩を幕府に返上しようかという苦しい状況の中、見事に財政改革をされました。今の米沢市に花を咲かせて頂いたという意味もありまして、今度は我々が花に想いを託して、鷹山公を傳承しようとするというような意味を込めております。

○記者

象徴的な意味での桜ということですね。

○市長

ええ。そうですね。

○幹事社

その他、質問等ありますでしょうか。

○記者

最上川河川敷の駐車場が市立病院関係者の駐車場として目的外利用されていることについて、市長の見解をお聞かせください。また、今月末までに県が市に現状を報告するようにと求めているようですが、その状況と今後の見通しを教えてください。

○市長

はい。確かに新聞で取り上げられていたように、最上川の河川緑地として整備をしていただいて、市が管理をしている駐車場であります。本来の目的からすれば緑地公園を利用される方の駐車場という位置付けであることは理解をしております。

ただ、平日は主に市立病院の関係者が駐車しているという現状があるようです。初期の公園施設の利用目的からすれば好ましいことではないと思っております。

一方で、市立病院の駐車場についても万全であるということではなく、駐車場が狭いということや、病院関係者からみれば、緑地公園の駐車場が近くにあるため利用しているという状況もあるようです。病院関係者の駐車については改善するように、市から市立病院へ伝えているところであります。

また、県からの対応についてであります。県からは、防災上の観点から看板の設置について検討するようという指導があったということでもありますので、例えば危

陰水位など、現地において河川関係者との検討、協議を重ねながら、看板の設置はしていかなければならないと考えております。今後、県と協議を詰めていかなければならないと思っているところであります。

○記者

現在、200台ほど満車的に駐車していて、利用外目的でだめだからということで、他のところに車を移すということは、物理的に難しいと思います。注意喚起の看板を設置するというお考えだと思うのですが、そもそも現在の病院関係者の車を移動できないですよね。それをどうするのかをお聞きしたいです。

○市長

移動できないからどうするのかということでしょうか。

○記者

要するに、駐車していること自体は目的外利用でだめな訳ですよね。それでは、車をどこかに移せるのかといたら物理的に移す場所がありませんよね。

○市長

そうですね。今病院の向かい側が駐車場になっていますが、市立病院の駐車場の奥の方に一定程度とめることは可能だとは思いますが、しかし、奥の方に停めると病院関係者も時間がかかる訳ですね。まったく不可能ではないとは思いますが、そういったことも含めて病院側の方にはお願いをしているところです。圧倒的に駐車スペースが足りないということは言えるのかもしれませんが、ただ、病院の駐車場に停めると、患者さんや家族の皆様の迷惑になりますので、職員の車の利用も含めて、なんらかの改善を取っていかないといけないのかなと思っております。

○記者

まだ決定はしていませんが、最有力候補として市立病院を現在の場所に建て替えると言っていますが、新しい病院をあそこに建てた場合、1000台分の立体駐車場を建てるそうですが、それができれば今の問題は解決するはずですが、現在から市立病院を建て替えるまで、2年以上の間が空くと思いますが、もし工事になった場合、今の河川敷を臨時駐車場として限定的な利用を県に申請し、特別措置として県に話しているようですが、県はそのような利用であれば許可する方針だと言っているのです。その許可は、工事が正式決定してから許可が降りるようですが、これは1年未満の間に決定するでしょう。この1年未満の期間をどうするのかという話のなかで、現状では物理的に車を置くところがないから、特別措置として、新病院が建設するまで車の駐車を認めてくれないかという頼み方も市としてはあると思うのですが、その点はどうでしょうか。

○市長

はい。詳細を承知しておりませんでしたし、今お話しにありましたように、市立病院の現地建て替えは議会と調整中であり、まだ完全に決定した訳ではありません。

しかし、現地建て替えが仮に決定した場合には、圧倒的に駐車場が足りないということもありますし、目的外利用の駐車は好ましくないのです、立体駐車場などで駐車ス

ペースがきちんと確保できるまでの間、河川敷駐車場を使用させていただきたいということは、今お聞きしました。病院からはそのような報告はありませんでしたが、目的外で無断利用しているというのはうまくないと思いますので、しばらくの間という形で、立体駐車場などで駐車場が確保されるまでの間利用させていただきたいということは、お願いをしなければならないと考えております。

○記者

それは前倒しを含めてということですか。

○市長

はい。

○幹事社

その他、質疑等ある方いらっしゃいますでしょうか。

○記者

病院建て替えの件についてですが、2つの場所について比較、検討されたかと思えます。それぞれのとりまとめ状況として、当初7月ということでしたが、8月にずれ込むということでした。具体的にいつ頃議会の方に示されるのでしょうか。

○市長

この件については、8月17日頃には、その方向性をしっかり出すとのことでした。

○記者

議会に対してはお盆明けということですか。

○市長

いえ。議会だけではなく、議会も含めて、その方向性はお盆明けに示すということで私は聞いております。議会で求められている北村公園と現地建て替えの優位性についてコンサルにも検討していただいているという経過もありますので、報告をして、その答えをお盆明けに出すということで伺っておりました。

○記者

議会で優位性の材料を出すのは、お盆前でしょうか。

○市長

はい。お盆前の全員協議会で出すということで、前々から議会との協議の中でその方向性は出ていたようでした。

○記者

それを元に議会側からの回答をもらうということですか。

○市長

はい。最終的な決定になると思います。

○幹事社

その他、よろしいでしょうか。

○秘書広報課長

それでは、7月の定例記者会見を終了いたします。